

第二九回大会

総会報告事項と決定事項

一、事務局報告

1. 運営委員会、宿題委員会、研究会の開催について、第一回運営委員会が一〇月四日に開かれ、そのあと七回にわたって運営委員会が開かれた。
宿題委員会は、十二月六日に運営委員会との合同で第一回が開かれて以来、五回にわたって開かれた。
2. 研究会は、第一回研究会が一月三十一日に、特別研究会が二月四日に、第二回研究会、関西地区研究会が五月九日に、関東地区研究会が五月十一日に、東北地区研究会が七月三十一日に開かれた。また特別研究会が六月一三日に、第三回研究会が七月二二日に開かれた。
3. 以上の詳しい点は、研究通信一二二号より一二五号までを参照されたし。
2. 研究通信は、一二二号より一二五号までの四号を発行した。
3. 会員数は一九八一年一〇月十三日現在で三四四名である。なお、うち新入会員が一九名、住所不明五名が含まれている。また、退会者三名、および死亡者五名（篠原武夫、古宮憲義、蒲生正男、加園武、伊藤章の五氏）である。

二、会計報告

村研 1981年度 会計報告 (81年10月13日現在)

収入の部

	80年度	81年度
前年度繰越金	245,847	1,708
年会費	714,045	975,292
利息	7,756	12,042
合計	967,648	989,042

支出の部

研究通信印刷費	633,150	444,000
名簿印刷費	34,650	115,000
郵送送料	164,370	249,950
連絡通信費	36,030	40,931
会場費	4,550	8,700
文具・消耗品費	36,190	15,905
講師謝金	10,000	44,700
香典	10,000	0
引継経費	7,000	12,775
事務経謝金	30,000	30,000
小計	965,940	961,961
次年度繰越	1,708	27,081
合計	967,648	989,042

三、編集委員会報告

研究年報第十七集が刊行された。第十八集の執筆希望者は編集委員会事務局（〒一八〇武蔵野市吉祥寺北町三―三一、成蹊大学法学部安原茂気付）まで申込むこと。

四、一九八二年度事務局について

中央大学島崎稔会員、吉沢四郎会員にお引き受けいただくことになった。

新事務局の住所は次の通り

〒192-03

東京都八王子市東中野七四二―一

中央大学文学部 社会学研究室内

村落社会研究会

五、第三〇回大会開催地について

第三〇回大会の開催については東北大学を中心とする仙台地区の会員にお願いすることとなり、具体的には三〇周年記念行事の計画にもとづいて場所、日時が決定されることとなった。

六、村研三〇周年記念行事について

三〇周年記念行事については、運営委員会が実行委員会を組織し、この実行委員会と村研事務局、大会開催校とで協議し、共通

課題、大会の会期、座談会、記念講演会、年報特集号、大会のプランなどの具体的計画をたてることとなった。